

ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報			
ふりがな	こんどう なお		
氏名	近藤 ナオ		
所属	株式会社シュチェンシュリーバ		
役職	代表取締役		
活動エリア	静岡県南伊豆エリア、宮城県東松島市野蒜エリア、東京、オランダ、タンザニア		
連絡先	住所	〒	151-0052 東京都渋谷区西原3丁目14番12号メゾントロワ1A
	電話番号		
	メールアドレス	asobot.nano@gmail.com	
キャッチコピー	誰かのやりたい事（夢）を叶える事が得意です。それが個人でも組織でも自治体でも		
自己PR	ビジネスとコミュニケーション（クリエイティブなど）の両面から、地域課題解決型ビジネスや地域資源活用型 ビジネスの立ち上げのサポートを得意としています。 2年以内に持続可能な組織作りを目指しています。		
関連ホームページ	名称	アドレス	
	KIBOTCHAスマートエコビレッジ（宮城県東松島市野蒜エリア）	https://kibotcha.com/	
	日本橋フレンド（東京都中央区日本橋エリア）	https://www.nihonbashifriend.com/	
	ステージえんがわ（新潟県三条市）	https://sanjo-machiyama.jp/stageengawa/	
2. 略歴・受賞歴			
略歴・ 受賞歴	<ul style="list-style-type: none"> ◆1978年 愛知県名古屋出身 ◆2000年 国士舘大学工学部建築学科卒。在学中に、建築事務所でのインターンを経験。 ◆1998年（大学3年生時）そこで知り合った仲間とデザイン事務所『nano』を起こし、店舗を中心とした空間デザインを手掛ける。その後、仕事を通じて知り合った伊藤剛と意気投合。 ◆2001年『株式会社アソボット』を設立。 ◆2020年『株式会社アソボット』を退社し、日本、オランダ、タンザニアに法人設立。 		
3. 取組分野			
観光	（		
● 移住・定住・関係人口	（新しいライフスタイルとして二地域以上の場所に所属して暮らす他地域居住者を中心としたシェアハウスなどの運営をサポートとし関係人口の増加を実現する）		
農林水産業	（		
● 起業支援	（農山漁村での新規事業立ち上げや既存事業の再生を行う）		
まちなか再生	（		
集落再生	（		
● 環境	（太陽光や小水力による発電、バイオマス資源を活用した熱の獲得、湧き水や井戸水を利用した上水道の整備など環境負荷をおさえた暮らしの実践を行う）		
その他	（		



4. ふるさと財団での実績

外部専門家 (活用助成)	<ul style="list-style-type: none"> ◆2017年～19年度 静岡県南伊豆町 「誰もが生涯にわたり活躍できる地域社会を形成するための「学びのプラットフォーム」構築事業 ◆2016年～17年度 新潟県三条市 「まちなかのコミュニティ機能の再生及びプラットフォーム(組織づくり)の構築」 ◆2015年度 新潟県三条市 「「健幸長寿社会を創造するスマートウェルネスシティ総合特区」の具体的な推進のための横断的な組織づくり」
-----------------	---

5. 取組内容・実績

取組内容・実績	<p>【取組事例①】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 事業名 : KIBOTCHAスマートエコビレッジ (宮城県東松島市野蒜エリア) (2) 対象地 : 宮城県東松島市 (3) 事業目的: 今後、震災などがあった時に1万人規模の人々を避難させられる場所を作る (4) 事業内容: 電気とガス、水道、水道、下水道、教育、医療、移動手段などを自立した形で運用できるようにする (5) 事業による成果: 現在、東松島市との協定では震災時に300人の人を受入れる事ができる
	<p>【取組事例②】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 事業名 : 誰もが生涯にわたり活躍できる地域社会を形成するための「学びのプラットフォーム」構築事業 (2) 対象地 : 静岡県南伊豆町 (3) 事業目的: 南伊豆町を含む南伊豆エリア(賀茂郡)の地域資源を活かした活性化をおこなう (4) 事業内容: 南伊豆エリア(賀茂郡)の地域資源を活用する事業者48組を束ねてお互いに顧客をシェアする仕組みを作る (5) 事業による成果: アウトドアアクティビティ事業者を中心に南伊豆エリア(賀茂郡)で多数の事業者が現在を事業を行う
	<p>【取組事例③】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 事業名 : 「健幸長寿社会を創造するスマートウェルネスシティ総合特区」の具体的な推進のための横断的な組織づくり (2) 対象地 : 新潟県三条市 (3) 事業目的: 三条市民全てが健康で暮らせる街を作る (4) 事業内容: 子どもから高齢者までが楽しく街に出かけ、1日1回でも家を出て、歩きたく街にするために、様々な取り組みを三条市民と作った (5) 事業による成果: 地域で、いくつもの収益事業と非収益事業が生まれ多くの人が地域にも関わらず、出歩く街になった